幌村建設株式会社

≪人権を尊重した主な取組や成果≫

弊社では、アイヌ民族の雇用・活動支援及び女性の活躍支援の取組に力を入れており、アイヌ民族にルーツを持つ方(現在５名)の雇用を推進しているほか、地元の三石アイヌ協会の活動（アシリチェプノミ、イチャルパ等）に積極的に参加できるよう有給休暇の取得を促進しています。

また「建設ディレクター制度」を導入することにより、女性が積極的に建設業に携わることのできる体制を整備し、女性が活躍できる場の拡大に努めています。

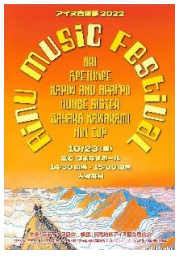
特に力を入れている取組

アイヌ民族の雇用と歴史文化活動への環境づくり

アイヌの人々

○ アイヌ民族の積極的な雇用と建設業に関わる資格取得に向けた支援の実施。

○ アイヌ民族の歴史や文化を伝える活動の支援
- 地域の子供たちへの料理体験(チェプオハウやコンブシト)やサケの採捕、鮭皮を使った靴(チェプケリ)の作成体験などを実施。
- 道内外のアイヌ音楽家が集まり民族楽器や伝統歌を披露するアイヌ音楽祭(ＡＭＦ)を2022年から2025年まで開催し、今後も継続的な開催を予定。



女性が働きやすい職場環境の実現

女性

○ 産休、育児休暇制度の充実。

○ 現場事務所の業務をバックオフィスからサポートするための「建設ディレクター制度」の導入。

○ 女性技術者が働きやすい職場環境づくりのための「女性専用の快適トイレ」の設置。

活躍企業 KENSETSU DIRECTOR

関連した取組

■人権に関する他の制度などの認定状況

- 北海道家庭教育サポート企業等制度協力企業(北海道教育委員会, 2008年)
- ユースエール認定企業（厚生労働省, 2025年）
- 北海道働き方改革推進企業認定制度ブロンズ認定（北海道, 2026年）

■SDGsの取組と目指すゴール

- 地域を支える未来への人材確保（小中学校への図書購入金の寄付など）
- はたらく人にやさしい経営の実現（女性の活躍応援自主宣言、女性採用の推進など）
- 環境を守る行動の実践（北海道グリーンビズ認定、HES Step1認証取得など）
- 社会貢献活動（町内清掃活動。従業員ボランティア活動の有給化など）

会社概要

弊社は、北海道日高地方の新ひだか町で建設業を営んでおり、国や自治体から建設工事を受注し、地域社会資本整備や農業農村整備事業、災害発生時の積極的対応に努めております。住み暮らす人々の安心と安全を守り、地元地域に信頼されるよう一層の努力を重ねてまいります。

【会社ホームページ】
http://www.horo.co.jp
【会社インスタグラム】
https://www.Instagram.com/horomura_group/

企業情報	
設立年	1957年(昭和32年)
資本金	98百万円
代表者	代表取締役　幌村 司
従業員数	63名
本社所在地	新ひだか町